



TITLE:

表紙 (泌尿器科紀要 第30巻第3号) 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙 (泌尿器科紀要 第30巻第3号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要
1984, 30(3): 436-436

ISSUE DATE:

1984-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/118127>

RIGHT:

泌尿紀要

Acta Urol. Jpn.

Vol. 30, No. 3 ACTA UROLOGICA JAPONICA March 1984

泌尿器科紀要

第30巻 第3号 1984年3月

経皮的腎嚢胞穿刺による95%エタノール注入療法

- 第1編：血中ならびに尿中エタノール動態……………川村 寿一・ほか… 287
腎動静脈奇形に対する absolute ethanol 使用選択的血管栓塞術……………佐々木光信・ほか… 295
尿路性器結核の臨床……………布施 秀樹・ほか… 299
食物中の尿酸含有量の測定 (英文) ……………小川 由英・ほか… 305
和歌山赤十字病院泌尿器科における入院・

- 手術統計 (1979年4月～1983年3月) ……………北川 道夫・ほか… 311
尿管静脈瘤に対する手術治療の経験……………藤岡 知昭・ほか… 321
停留精巣の研究

- 第1報：停留精巣における間細胞の形態学的観察……………後藤 百萬・ほか… 327
停留精巣の研究

- 第2報：停留精巣における精細管壁の形態学的観察……………後藤 百萬・ほか… 349
転移性陰茎腫瘍の3例……………寛 善行・ほか… 363
精索に発生した primary lipogranuloma の1例 ……………牧 昭夫・ほか… 371
先天性偏側性多襄腎の1例

- 本邦126例の臨床統計について—……………奥村 哲・ほか… 375
小児膀胱横紋筋肉腫の1例……………神波 照夫・ほか… 387
異時性両側性の非特異性限局性尿管炎の1例……………竹内 敏視・ほか… 397
神経因性膀胱に対する塩酸エペリゾンの使用経験……………村山 和夫・ほか… 403
男子不妊症に対する八味地黄丸および人参湯の効果……………奥山 明彦・ほか… 409
前立腺術後の尿路感染症に対する

- Pivmecillinam の予防と治療効果に対する検討 ……………金武 洋・ほか… 415
前立腺手術後の化学療法

- Pivmecillinam (PMPC) による長期治療の効果— ……………佐川 史郎・ほか… 423
排泄性腎盂造影における非イオン性低浸透

- 圧水溶性造影剤イオパミロン370®の使用経験……………宮川美栄子・吉田 修… 431

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606
京都大学医学部泌尿器科学教室

購読要項 (1983年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料 6,000 円 (送料とも) を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部あて、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1983年8月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
 - (i) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文 7 頁 (400字×28枚程度) 図 (Fig) 10枚、表 (Table) 5枚までとする。
 - (ii) 和文原稿は B 5 版 400 字詰原稿用紙横書き、楷書、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプし、年号は西暦とする。
 - (iii) 原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名の順に和文、英文で併記する。下段に筆頭著者名 (山田 または 山田・ほか:) と、2 語 (例：前立腺がん・PSAP) からなる running title および 5 語 (英文) 以内の key words を付す。
 - (iv) 英文抄録：ダブルスペースでタイプし、その和訳をつける。
 - (v) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず) の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、抄録の順に記した和文抄録を付す。
 - (vi) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg, μ g, %, °C, pH などとする。
 - (vii) 図、表、写真などはすべて別紙とし、写真はトリミングする。説明文は一括して記載し和文、英文を問わず Table 1., Fig. 2. などとする。英文が望ましい。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。とくに図・表は必ずタイプまたは楷書で清書し、誤りのないことを確認する。とくに、著者校正時、表中の数字の訂正をされないように願います。様式については本誌の図・表を参照する。
3. 掲載
 - (i) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
 - (ii) 紙代、印刷費および最初 1 頁の組版費は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後におこなう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
 - (iii) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などにかんする研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別刷

実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

宮崎 重 新谷 浩
吉田 修 (主 幹)